

MITSUBISHI

三菱 **自然冷媒** ヒートポンプ式電気給湯機



時間帯別電灯通電制御型

- この製品は、「時間帯別電灯」契約専用です。

SRT-HP302WFD

仕様書

仕様表

形名	セット	SRT-HP302WFD
	ヒートポンプユニット	SRT-HPU452
	貯湯タンクユニット	SRT-HPT302WFD
適用電力制度	季節別時間帯別電灯、時間帯別電灯対応通電制御型	
種類（設置場所）	屋外型（貯湯タンクユニットのみ屋内設置可）	
タンク容量	0.30m ³ (300L)	
定格電圧・周波数	単相 200V、50/60Hz	
ヒートポンプユニット	定格加熱能力※2※3	4.5kW
	定格消費電力※3	1.14kW
	夏期加熱能力/消費電力※2※4	4.5kW/1.02kW
	冬期加熱能力/消費電力※2※5	4.5kW/1.25kW
	冬期高温加熱能力/消費電力※1※2※6	4.5kW/1.54kW
凍結防止ヒーター	36W (3°C ON、7°C OFF)	
ふろ循環ポンプ	100W/130W (50Hz/60Hz)	
タンク循環ポンプ	95W/110W (50Hz/60Hz)	
最大電流	16A	
沸き上げ温度	約75°C～約90°C	
寸法	ヒートポンプユニット	高さ 640mm × 幅 820(+80°)mm × 奥行 300mm ※配管カバー寸法
	貯湯タンクユニット	高さ 1870mm × 幅 630mm × 奥行 670mm
質量	ヒートポンプユニット	約59Kg
	貯湯タンクユニット	約85kg (満水時約385kg)
運転音※7	39dB	
最大使用圧力	190kPa (逃し弁設定値)	
冷媒名（封入量）	CO ₂ (0.77kg)	
安全装置	漏電遮断器、温度過昇防止器、缶体保護弁	
B L 認定番号	BLEH040106-B	
給水器具認証書番号	W009-20020-047	
リモコン（別売）	台所リモコン	RMC-HP2KDまたはRMC-HP2K (外形寸法：縦 132mm 横 140mm 厚さ 22mm)
	浴室リモコン	RMC-HP2WBDまたはRMC-HP2WB (外形寸法：縦 105mm 横 210mm 厚さ 25mm)

※1 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。

※2 沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。

※3 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）16°C/12°C、水温17°C、沸き上げ温度65°C

※4 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）25°C/21°C、水温24°C、沸き上げ温度65°C

※5 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）7°C/4°C、水温9°C、沸き上げ温度65°C

※6 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）7°C/6°C、水温9°C、沸き上げ温度90°C

※7 定格条件下での測定（JISのルームエアコンディショナに準じ測定）

※3、4、5、6、7について

●外気温：理科年表、月別平均気温・湿度（1961年から1990年までの平均値）

●水温：（社）ソーラーシステム振興協会「ソーラーシステムの設計基準に関する調査研究」（昭和57年9月）

●いずれも東京・大阪の季節別環境条件です。

（本タイプには、万一、貯湯タンクユニット内で水漏れが起こった時、貯湯タンクユニットへの給水を自動的に止めて水漏れによる被害拡大を抑制する機能が 있습니다。（タンク内に貯まっているお湯（水）までストップするものではありません。）

仕様表

T0309201C



別売部品

部 品 名	形 名
デラックスリモコン	RMC-HP2KD (台所リモコン) + RMC-HP2WBD (浴室リモコン)
スタンダードリモコン	RMC-HP2K (台所リモコン) + RMC-HP2WB (浴室リモコン)
リモコンケーブル	LM-620 (20m)、LM-650 (50m)、無極性、2芯
浴槽アダプター	GT-A76 (ストレート型)、GT-A79 (L型)
ヒートポンプA配管用止水栓	GT-100
脚部カバー	GT-E300A (正面設置用)、GT-E300B (横向き設置用)
アース棒	GT-30B
防雪カバー	GT-121
風向ガイド	GT-130
アンカーボルト	GZ-B1 (M12、30本入り)、GZ-B2 (M10、50本入り)

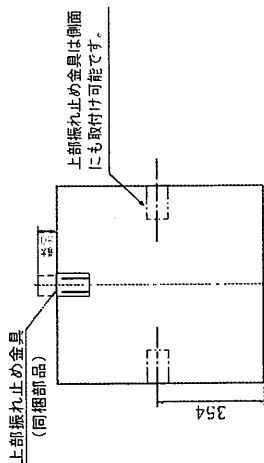
設置に必要な部品 (市販品)

部 品 名	仕 様 等
ヒートポンプユニット用簡易基礎	許容荷重: 400N (40kgf) 以上、奥行き 700mm以上
凍結防止ヒーター	推奨品: 東京特殊電線 NFオートヒーター
ヒートポンプ電源通信線	φ2.0、VVF線 (3芯・単線)
配線用PF管	電源線用・ヒートポンプ電源通信線用: φ22、リモコン線用: φ16
ヒートポンプユニット用ドレンホース	φ16 (エアコン用)
水抜き栓 (給水・給湯配管用)	不凍結水栓等の水抜き栓、またはY形ストレーナー等水抜きができる手段

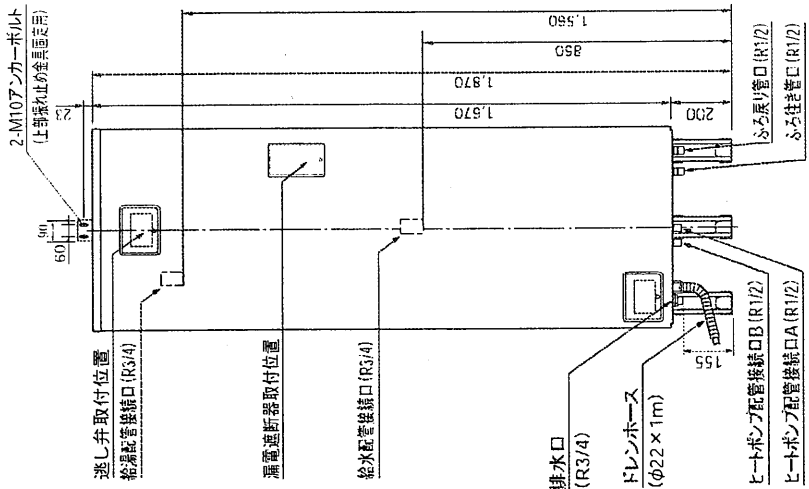
仕様表	
T0309202C	/

外形寸法図 (寸法単位:mm)

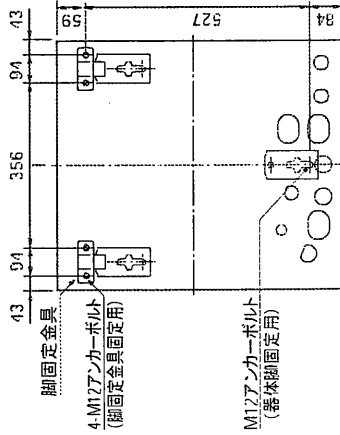
貯湯タンクユニット



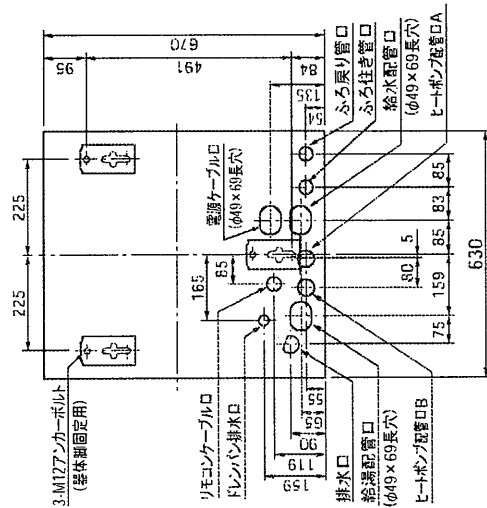
上面図



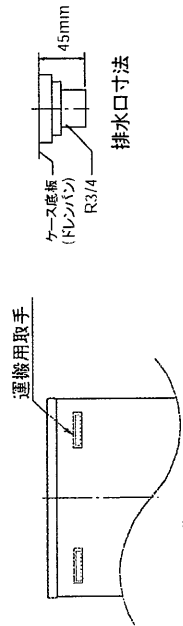
正面図



脚固定金具使用時:上面透視図

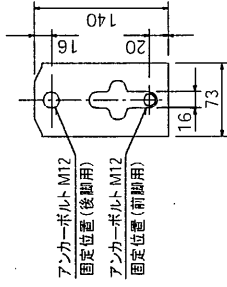


配管、アンカーボルト位置:上面透視図

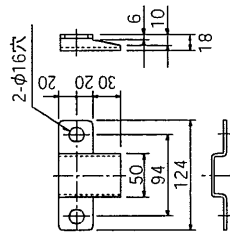


背面図

器体脚詳細図



脚固定金具 (同梱部品)



〈注意〉

ヒートポンプA配管は、基礎部からの垂直立ち上げはできません。(貯湯タンクユニットの脚と干渉します。)脚に当たらないように曲げて施工してください。

貯湯タンクユニット 上面透視図

ヒートポンプA配管

脚

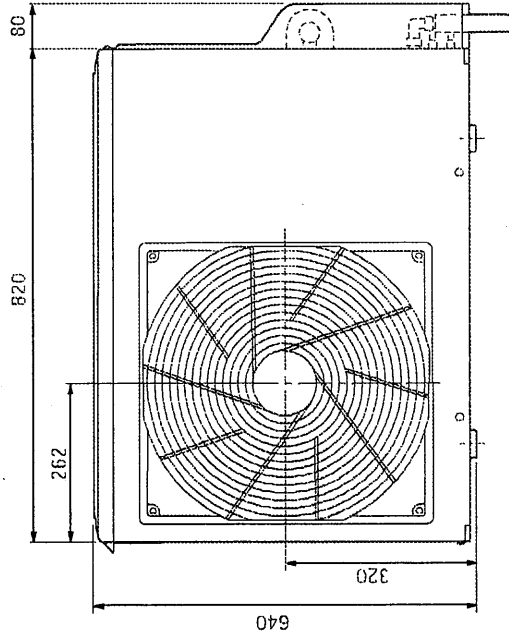
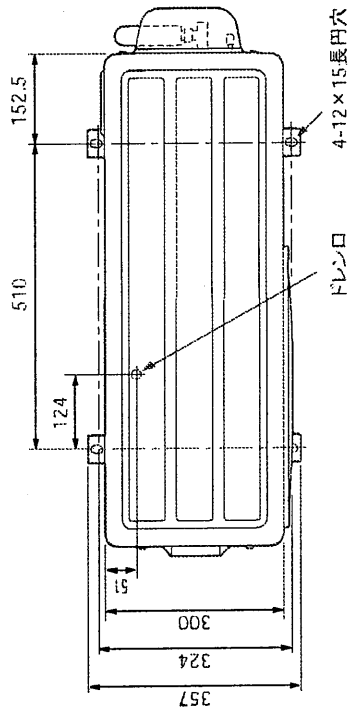
SRT-HPT302WFD

外形寸法図

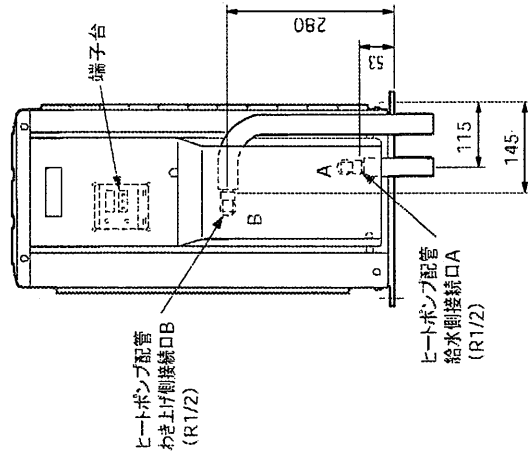
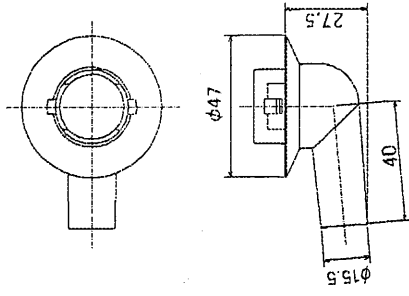
T0309203C

外形寸法図 (寸法単位:mm)

ヒートポンプユニット



ドレンニップル(同梱部品)

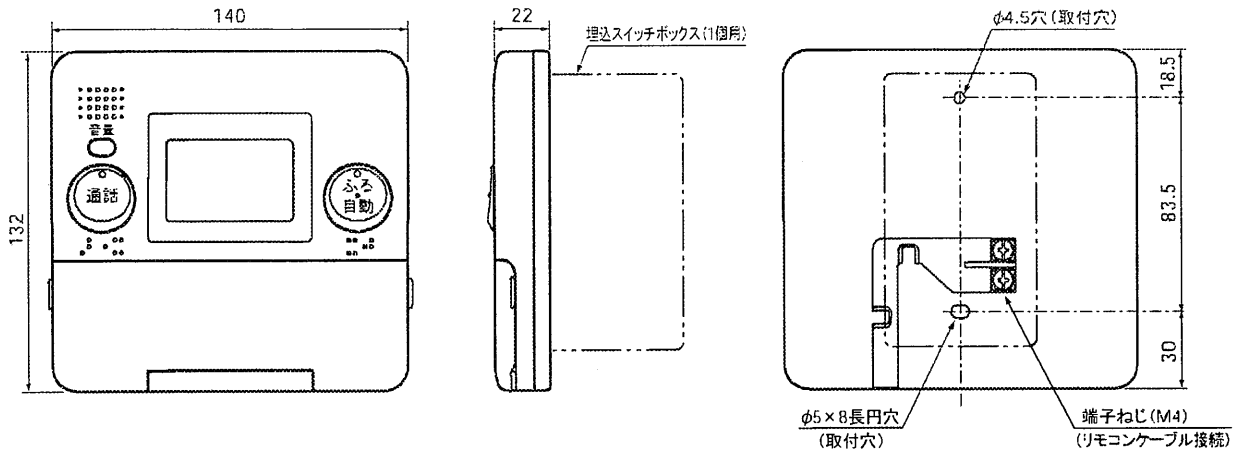


SRT-HPU452

外形寸法図

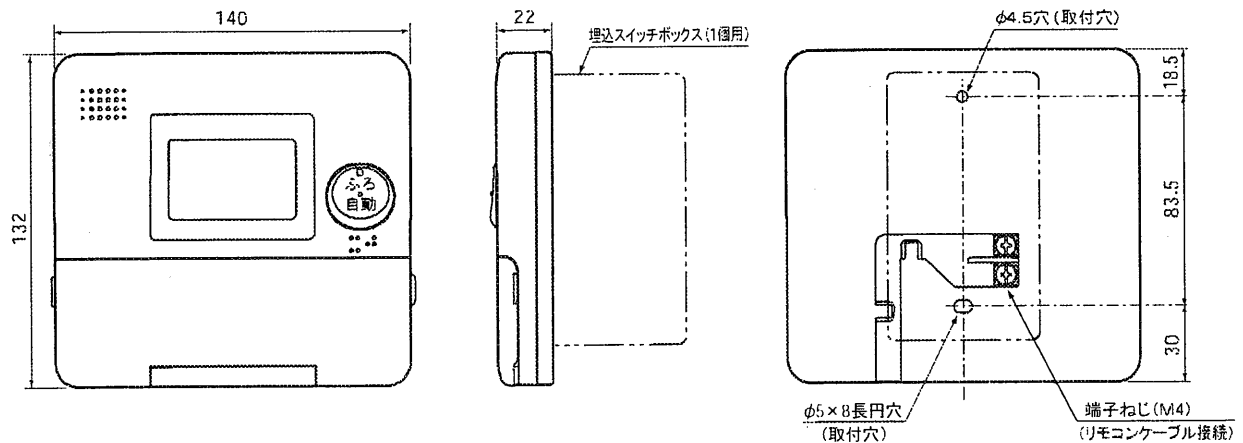
T0309204C

(寸法単位:mm)



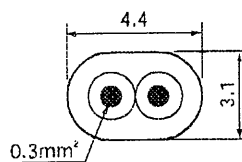
台所リモコン[デラックスタイプ] RMC-HP2KD (別売)

(寸法単位:mm)



台所リモコン[スタンダードタイプ] RMC-HP2K (別売)

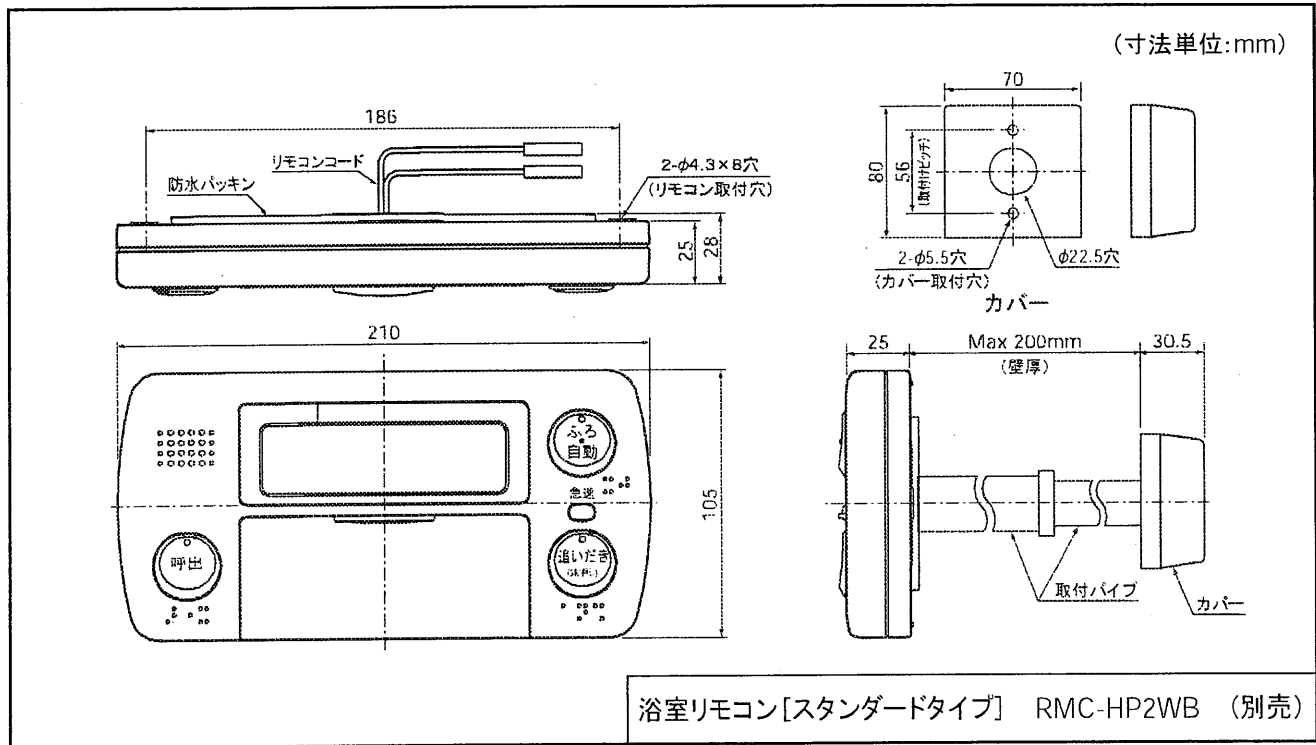
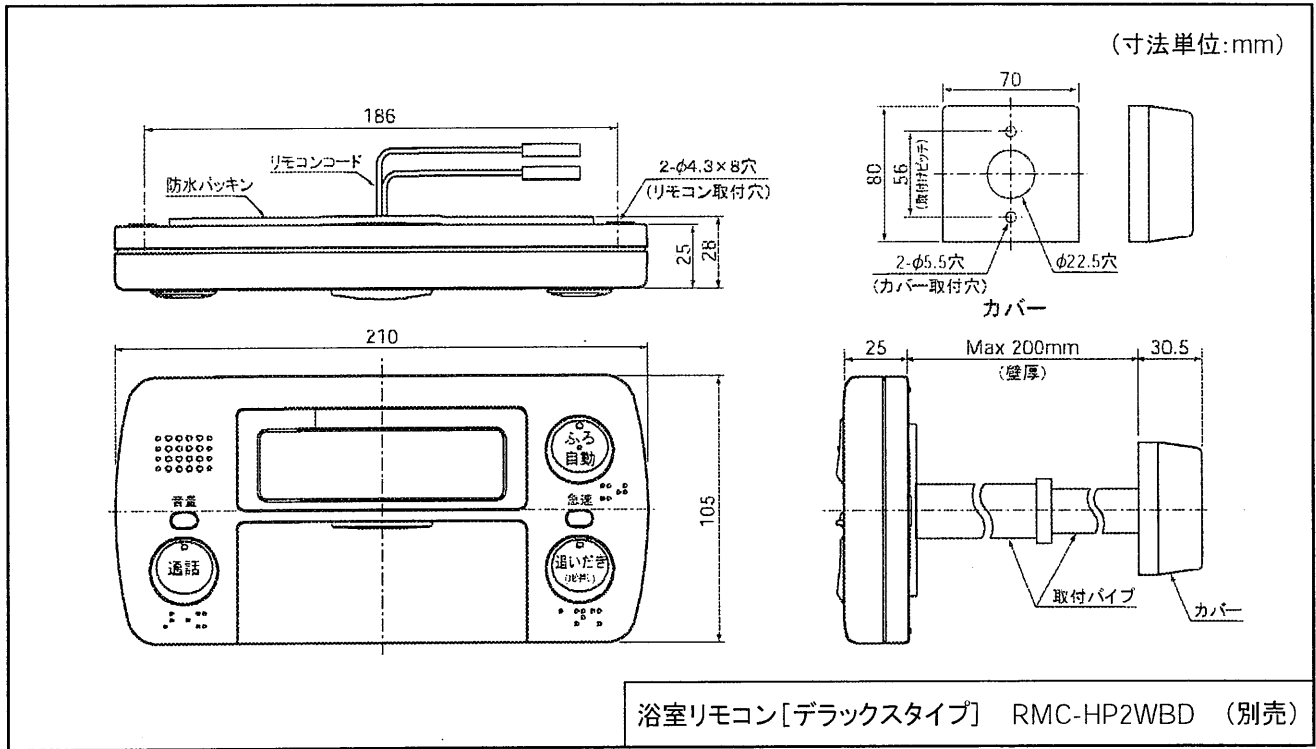
- RMC-HP2KD[デラックスタイプ]、RMC-HP2K[スタンダードタイプ]のいずれかを選択してご使用ください。
- このリモコンは防水タイプではありません。
屋外や浴室などの湿気の多いところ、蒸気や水しぶきがかかる
ところには取付けないでください。
- 下記の場所には取付けないでください。
・直射日光のあたるところ
・ガステーブルなどの高温(50°C以上)になるところ
- リモコンは JIS C 8336または8435の埋込用スイッチボックス
(1個用)、または壁に直に取付けます。
- 設置条件によって別売のリモコンケーブル LM-620(20m)、
LM-650(50m)をお使いください。
- 台所リモコンとリモコンケーブルの接続はリモコンケーブルに
Y型端子を圧着して接続します。



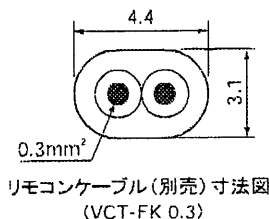
リモコンケーブル(別売)寸法図
(VCT-FK 0.3)

台所リモコン(別売)

T0309205C



- RMC-HP2WBD [デラックスタイプ]、RMC-HP2WB [スタンダードタイプ] のいずれかを選択してご使用ください。
- リモコンの取付けは標準の場合と壁内配線の場合で使用する部品が異なります。
標準の場合…取付パイプ、カバー、パッキン
壁内配線の場合…木ねじなど
- 設置条件によって別売のリモコンケーブル LM-620 (20m)、LM-650 (50m) をお使いください。
- リモコンケーブルとリモコンコードを接続端子で接続します。

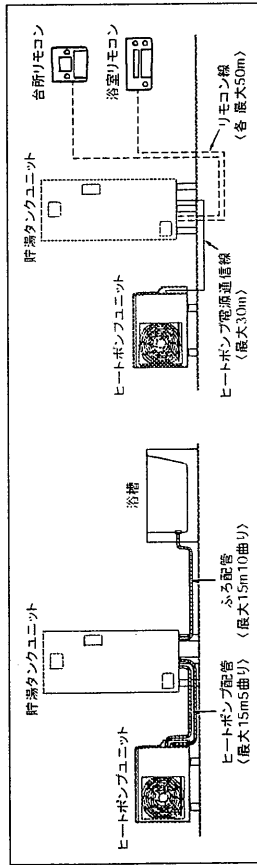


浴室リモコン(別売)	
T0309206C	/

据付場所の選定

＜ヒートポンプユニット、貯湯タンクユニット共通項目＞

- 冬季の最低気温がマイナス10℃を下回る地域では使用できません。
- 積雪地や温泉地帯など特殊な場所では機器が故障する恐れがありますので据え付けないでください。
- 機器と建物とのすき間寸法については、各都市の火災予防条例に従ってください。
- ヒートポンプユニット、貯湯タンクユニットは機器の性能や保守点検のため「据付場所の制約」のスペースを確保してください。
- 配管に関する「据付場所の制約」を守ってください。
- 配管による放熱ロスを少なくするため、できるだけ給湯場所に近い所へ据え付けてください。
- 雨や雪が降ったとき、水たまりができて水につかるような所には絶対据え付けないでください。
- 以下の配管・電線は、最長に制約がありますので、最短となるように施工してください。



＜ヒートポンプユニット＞

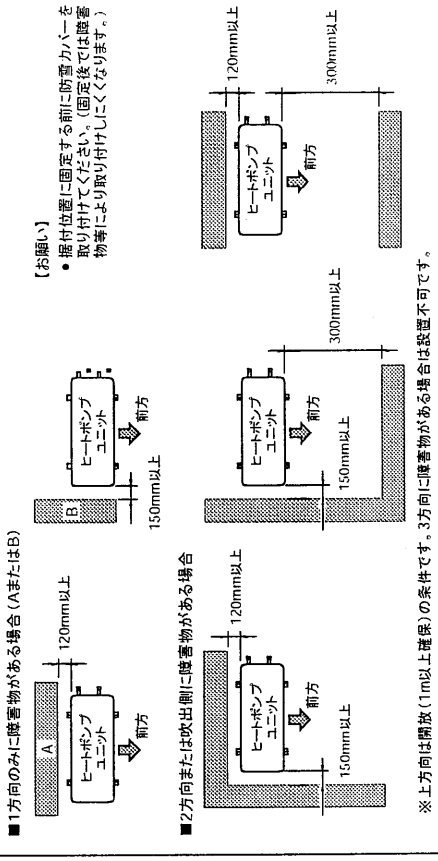
- ヒートポンプユニットは屋内に据え付けないでください。
- ヒートポンプユニットは通気性の良い場所に据え付けてください。
- ヒートポンプユニットは置き上げ中および凍結防止運転中に運転音、振動が発生します。据付場所の状態で、運転音は大きくなります。また、置き上げ中は冷風がでますので、寝室の近くやご近所の迷惑になる場所へ据え付けは避けてください。また、各地区の騒音規制等に関する条例に従ってください。
- ヒートポンプユニットは強風に当たらない場所を選定してください。(風が当たると除霜時間が長くなります。)
- 積雪地区へ据え付ける場合は、カバー(当社純正別売部品)を据付位置に固定する前に取り付けてください。
- 吹き出口に入らないよう、防雪カバー(当社純正別売部品)を据付位置に固定する前に取り付けてください。
- また、防雪屋根を設置して雪が積もらないようにしてください。
- ヒートポンプユニットはテレビ・ラジオのアンテナより3m以上離してください。
- (テレビ・ラジオに映像のみだれや雑音が生ずることがあります。)
- 置き上げ時、結露した水がヒートポンプユニットのドレン口から排水されますので、排水ができる場所に据え付けてください。
- ヒートポンプユニットの前方に300mm以上確保できない場合は、風向ガイド(当社純正別売部品)を取り付けてください。

＜貯湯タンクユニット＞

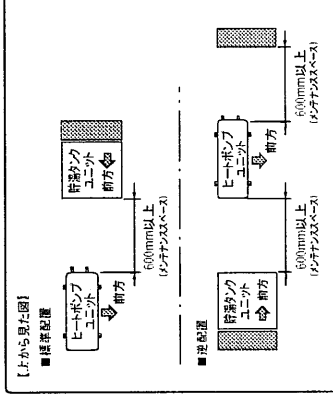
- 貯湯タンクユニットを屋内に据え付ける場合は、屋外に据え付ける場合の注意に加え、特に下記を厳守してください。
 - 通気口を設け、密閉室にしないでください。
 - 床面の防水・排水工事を慎重に行ってください。
 - 浴室など湿気の多い所には据え付けないでください。
- 積雪地域で貯湯タンクユニットを屋外に据え付ける場合は、小屋がけをして雪がかかるのを防いでください。
- 貯湯タンクユニット設置階の上の階に給湯するとき、貯湯タンクユニット設置階の給湯回路に流量絞り弁を取り付けて、階高さの違いによる流量バランスの調節をしてください。

据付場所の制約

ヒートポンプユニット単体の据付制約(上から見た図)



ヒートポンプユニットと貯湯タンクユニット間の据付制約

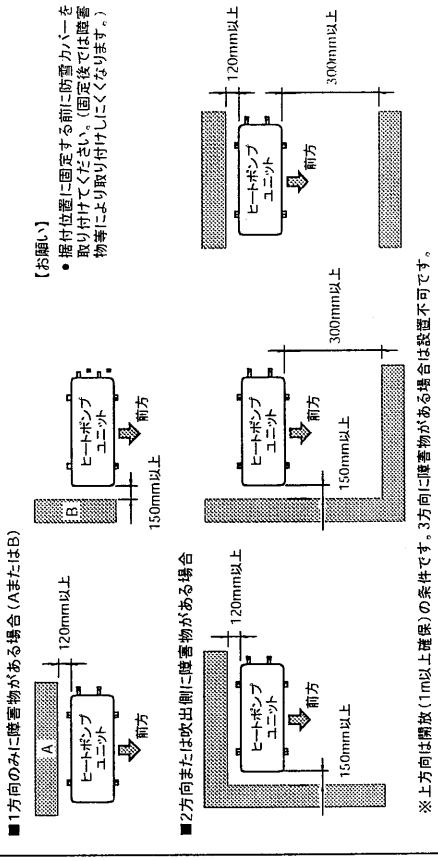


【上から見た図】

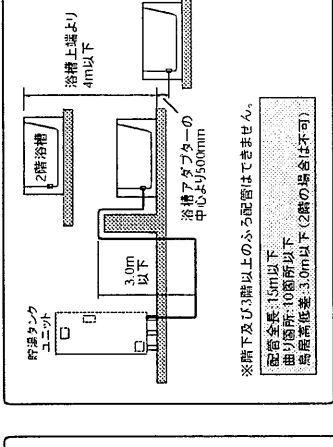
- 据付配置
 - 貯湯タンクユニット
 - 貯湯タンクユニットは屋内に設置しない
 - 万一冷媒が漏れると、酸欠不足の原因になります。
 - ガス類や引火物の近くには据え付けない
 - 発火・火災になることがあります。

据付場所の制約

ヒートポンプユニット単体の据付制約(上から見た図)



貯湯タンクユニットと浴槽間の据付制約(横から見た図)



【横から見た図】

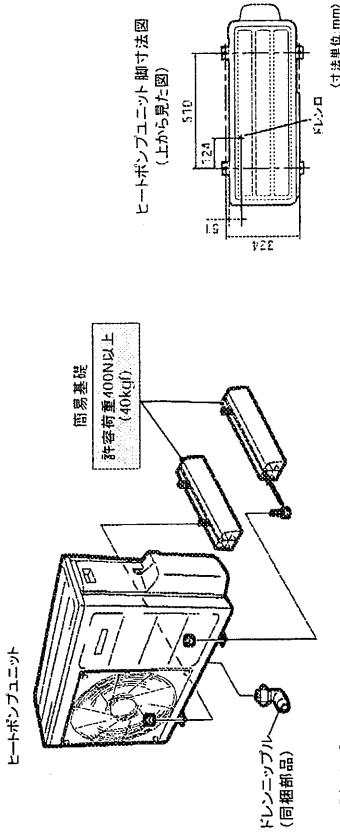
- 据付配置
 - 貯湯タンクユニット
 - 貯湯タンクユニットは屋内に設置しない
 - 万一冷媒が漏れると、酸欠不足の原因になります。
 - ガス類や引火物の近くには据え付けない
 - 発火・火災になることがあります。

据付工事-2

ヒートポンプユニットの据付

- ヒートポンプをヒートポンプユニットの下穴に取り付けてください。
- 市販のドレンホース(φ15)をユニットに取り付け、ドレンを排水できる位置へ導いてください。
- 簡易基礎(市販品)を使用して屋外、床置きにて、水平に据え付けてください。
- 積雪地域では、置台の上にご設置するなど、雪が空気を吸込口・吹出口に入らないような対策をしてください。
- ユニットの脚は必ず簡易基礎に固定してください。

〈据付例〉

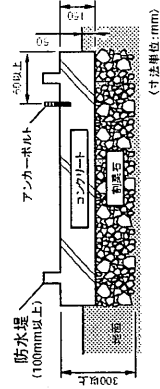


- 【お願い】
- 市販の蛇巻ホース(φ15)をドレンニップルに取り付け、ドレンを排水できる位置へ導いてください。

貯湯タンクユニットの据付

基礎工事

- ※貯湯タンクユニット、満水時の質量に十分耐える基礎工事をしてください。
- 基礎寸法
900×900mm以上
 - 満水時の質量
約385kg
- ※床面は防水・排水工事を行ってください。
- ※基礎工事は下図に従って行ってください。
- ※コンクリート圧縮強度: 18MPa(180kgf/cm²)以上
- ※アンカーボルト引き抜き力: 9,600N(1,000kgf)以上
- ※屋内に据え付ける場合は、必ず防水堤(高さ100mm以上)を付けてください。



注意

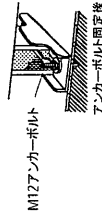
- 床面の防水・排水処理工事をする (大きな被害の原因)

脚部カバー(別売)取付工事

※脚部カバーを取付ける場合、貯湯タンクユニット本体を据え付ける前に脚部カバーの支持板を本体に取り付けてください。詳しくは脚部カバーの説明書をご覧ください。

脚部固定工事

- ※地震時の転倒防止のため、アンカーボルトを使用し、基礎の上に固定します。3箇所必ず固定してください。
- ※必ず水平に据え付けてください。

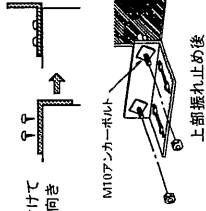


注意

- 貯湯タンクユニットの脚部をアンカーボルトで固定する (けがの原因)

上部振れ止め工事

- ① 貯湯タンクユニットの上面に取り付けてある上部振れ止め金具を外し上向きに取り付けます。
- ② 上部振れ止め金具を壁に固定します。



注意

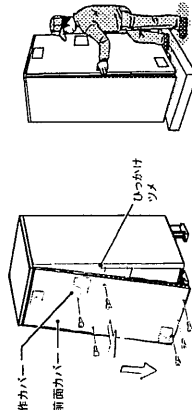
- 2階以上に取付ける場合は、上部振れ止め金具で本体を固定する (けがの原因)

貯湯タンクユニット前面カバーの外し方

- ※前面カバーのねじ(G本)を外したあと、前面カバーを上げながら手前に引いて降ろします。
- (前面カバーの取外し、取付けは右図のように行なってください。)

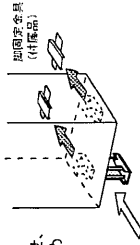
【お願い】

- 外した前面カバーは棒が付かないよう、風が当たらない安定した場所に正面を上にして横置きしてください。また、棒付カバーのつまみが壊れないように注意してください。
- 工事が終わったあと、前面カバーは元どおりねじ(G本)で確實に締めてください。



後脚がアンカーボルトで固定できない場合

- ① 付属の脚固定金具をM12アンカーボルトで固定します。
- ② 本体を矢印の方向に移動させ、後脚を脚固定金具の爪にはめ込みます。
- ③ 前脚をアンカーボルトで固定します。



【お願い】

- 引張荷重が4,900N(500kgf)以上に耐える壁、または後脚を固定してください。
- アンカーボルトは引き抜き力が2,450N(250kgf)以上になる施工をしてください。
- アンカーボルトの下穴は下表を参照してください。

アンカーボルト(上部固定用) 形名: GZ-B2

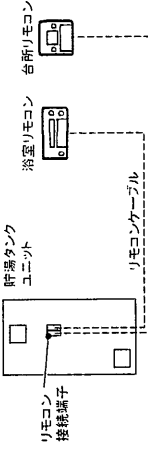
直径	全長	ねじの長さ	ドリル径	埋込深さ	寸法(mm)
10	60	25	10.5	35	

- 側面に取付ける場合、使用しないねじ穴は雨水が入らないように付属のシールでふさいでください。(シールは上部振れ止め金具に付いています。)

リモコン工事

- リモコンは、三菱純正別売部品をご使用ください。別売リモコン以外では、わき上げできません。
- リモコンケーブルは、三菱純正別売部品を設置条件に合わせて切断してご使用ください。
- 本体1台に複数の浴室リモコン及び複数の台所リモコンは接続できません。

リモコン接続概要



台所リモコン取付工事

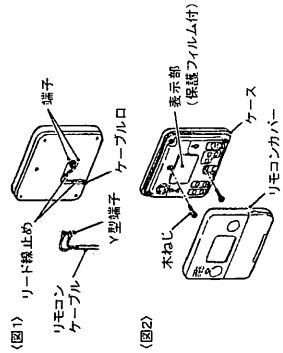
付属品

部品名	数量
木ねじ	2
オールプラグ	2
操作説明ラベル	1

- 【お願い】
- リモコン本体を分解しないでください。
 - 操作説明ラベルを台所リモコンの近側に貼付してください。
 - リモコンを塩素酸の上や鉄くずのある床の上に貼付しないでください。
 - リモコンは、音が出なくなり、音が聞こえなくなります。

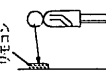
壁面に取付付ける場合（露出配線）

- (1) 下ケースの「ケーブル口」をニッパーなどで切欠く。(図1)
- (2) リモコンケーブルを付属のY型端子に圧着して端子に接続し、リモコンケーブルをリード線止めにする。(図1)
- (3) マイナスドライバーでリモコンケーブルをケースからはずす。
- (4) リモコンケーブルを木ねじ2本で壁に固定する。(図2)
- (5) リモコンケーブルを木ねじ2本で壁に固定する。(図2)
- (6) リモコンケーブルをケースにはめ、リモコンケーブルを壁に固定して通水器まで接続する。(図2)



取付場所の選定

- 台所リモコンは必ず屋内に取付けてください。
- 取付位置はスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えることを選んでください。
- 台所リモコンは防水タイプではありません。下記の場所には取付付けてください。
 - ガスレンジなど高温(50℃以上)になるところ
 - 浴室など湿気の多いところ
 - 洗面台のそばなど
 - 湯気や水しぶきや油のかかるところ
 - リモコンケーブルの長さが50cm以内になる場所としてください。



浴室リモコン取付工事

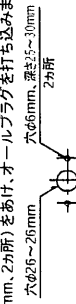
付属品

部品名	数量	部品名	数量
木ねじ	4	パッキン	1
オールプラグ	2	取付パイプ(木)	1
カバー(パッキン付)	1	取付パイプ(細)	1
操作説明ラベル	1	工事説明書	1

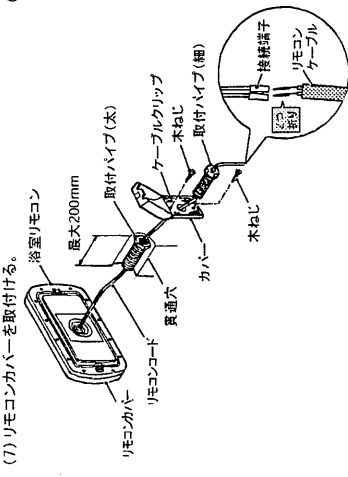
- ※パッキンはリモコンに付いていて、取付けできません。取付けできません。取付けできません。
- 【お願い】
- リモコン本体を分解しないでください。
 - 操作説明ラベルを浴室リモコンの近側に貼付けてください。
 - リモコンを塩素酸の上や鉄くずのある床の上に貼付しないでください。
 - リモコンは、音が出なくなり、音が聞こえなくなります。

コンクリート・タイルなどの壁に取付付ける場合（壁貫通）

- 壁厚200mmまで取付け可能です。
- 壁に貫通穴(φ26~30mm)、オールプラグ用穴(φ6mm、深さ約30mm、2ヶ所)をあけ、オールプラグを打ち込みます。



- (1) マイナスドライバーなどで、リモコンケーブルをケースからはずす。
- (2) 取付パイプ(木)を壁の厚さに合わせてカットし、リモコンケーブルを通してリモコンにねじ込む。
- (3) 木ねじでリモコンを壁に固定して、リモコンケーブルをカバー、取付パイプ(細)を通して、取付パイプ(細)をねじ込み、カバーを木ねじ2本で止める。
- (4) リモコンケーブルの芯線を2つ折りして、リモコンケーブル端子に圧着する。
 - 【お願い】リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。
 - 引張強度 3.55N以上圧着後に確認してください。
- (5) 接続部がカバーの内側になるようにケーブルクリップをリモコンケーブルを差付けてカバーのふたをする。
- (6) お客さまとご相談の上、必要に応じて表示部の保護フィルムをはめます。
- (7) リモコンケーブルを接続する。

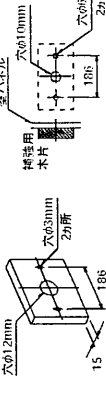


取付場所の選定

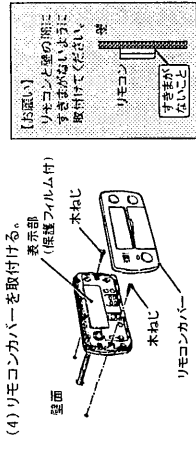
- 取付位置は浴室内のスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えることを選んでください。
- 浴室リモコンは防水タイプですが、できるだけ湿気や水がかかりにくい場所に取付けてください。
- リモコン線の長さが50cm以内になる場所としてください。
- カバーは湿気の少ない場所に取付けてください。

ユニットバスに取付ける場合（壁内配線）

- 取付パイプ、カバー、オールプラグは使用しません。
- 室内側からリモコンケーブルを通しておきます。
- 壁にリモコンケーブル用穴(φ10mm)と、リモコン取付け用穴(φ6mm)をあけます。
- 壁パネルに取付けする場合、裏側に補強用の木片を取付けます。(木片にリモコンケーブル用穴(φ12mm)とリモコン取付け用穴(φ3mm、2ヶ所)をあけます。)
- 補強用の木片を接着剤などで壁裏面に付けます。
- 木片は現場で用意してください。



- (1) マイナスドライバーなどで、リモコンケーブルをケースからはずす。
- (2) リモコンケーブルの芯線を2つ折りして、リモコンケーブル端子に圧着し、必ず、木ねじ2本でリモコンを固定する。
 - 【お願い】リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。
 - 引張強度 3.55N以上圧着後に確認してください。
- (3) お客さまとご相談の上、必要に応じて表示部の保護フィルムをはめます。
- (4) リモコンケーブルを接続する。



リモコン工事

T0309212C